



令和6年11月26日(火)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: www.kita9.ed.jp/nakashima-e/

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

- 相手の立場に立って考える思いやりのある子ども
- すすんで学び、自ら考え、表現する子ども
- 元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

- 安全な学校 ○温かい学校
- 笑顔があふれる学校
- 「中島小大好き」と言える学校
- 成長(学習)し続ける学校
- 保護者・地域・関係機関と連携する学校

11月5日は「津波防災の日」です

2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。この年の6月に、東日本大震災を教訓とした「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。この中で、11月5日が「津波防災の日」に制定されました。なぜ11月5日なのでしょう？

1854年(安政元年)11月5日の安政南海地震(M8.4)で和歌山県を津波が襲いました。この時、一人の男性が、暗闇の中で逃げ遅れていた村人に気づき、避難先の目印になるように収穫した稲に火をつけて高台に誘導し、多くの命を救ったと言われており、「稲むらの火」として語り継がれています。この逸話にちなみ、11月5日は「津波防災の日」「世界津波の日」と定められました。

中島小学校では、令和2年度から4年度までの3年間、防災・減災教育推進校として取り組んでおり、災害について様々なことを学習してきました。子どもたちが地震や火事、津波などの危険なことに会ったときにどうすればいいのか、前もって知っておくことがとても重要です。津波は、迅速かつ適切な避難により、人的被害を大きく軽減できる災害です。一人一人が津波について知り、命を守る行動を適切にとることが大事です。今後も学習を継続していきます。

シェイクアウト訓練を実施しました！

「津波防災の日」である11月5日(火)には、緊急地震速報の全国訓練が行われています。この日、中島小学校は体育発表会の練習中だったため、11月15日(金)の朝自習の時間、「シェイクアウト訓練」を実施しました。シェイクアウト訓練は、8月26日(月)にも実施しており、今年度2回目です。落ち着いた様子で、『緊急地震速報』の放送が流れると、身体を低くして机の下に入り、机の対角の足を持って身を守ることができました。

生涯にわたるメンタルヘルスの基礎 (6年生)

全国的に若年層の自殺の実態が深刻であることから、北九州市は平成20年度より自殺予防教育に取り組み始めました。平成21年度には、自殺予防教育の教材とするリーフレット「だれにでも、こころが苦しいときがあるから・・・」を作成。翌平成21年度から、管理職等一部職員を対象に研修を重ね、平成26年度からスクールカウンセラーによる各学校での職員研修が始まりました。そして、平成30年度からは、すべての小学校6年生と中学校2年生に対し、担任とスクールカウンセラーがチームティーチングの形式で「生涯にわたるメンタルヘルスの基礎(自殺予防教育)」の授業を行っています。

中島小学校でも、11月18日(月)、担任とスクールカウンセラーが、リーフレット『だれにでも、こころが苦しいときがあるから・・・』を使って授業を行いました。「だれにでもこころが苦しいときがある」「どんなに苦しくても、必ず終わりがある」「だれかに相談できる力をもとう」ということを学びました。次に、ペアになり、友達に悩みを相談されたら・・・という設定のシナリオを使った「話の聴き方体験」を通して、友達の危機への対処法を学習しました。

第6回 小倉城竹あかり

「小倉城竹あかり」が10月25~27日、11月1~4日に開催されました。8000個の竹灯籠は圧倒的な迫力でした。北九州市内の小学生によるSDGs竹紙燈籠づくりに、中島小学校も参加しました。

中島校区ふれあい文化祭

中島校区ふれあいまつり文化祭が、11月9日(土)に中島市民センターで開催されました。当日は、ステージ発表や作品展示、バザーなどの催しがありました。作品展示では、中島小学校の児童の作品も展示されています。なお、作品展示は11月30日までです。行ってみられてはいかがでしょう。